

地形・地質

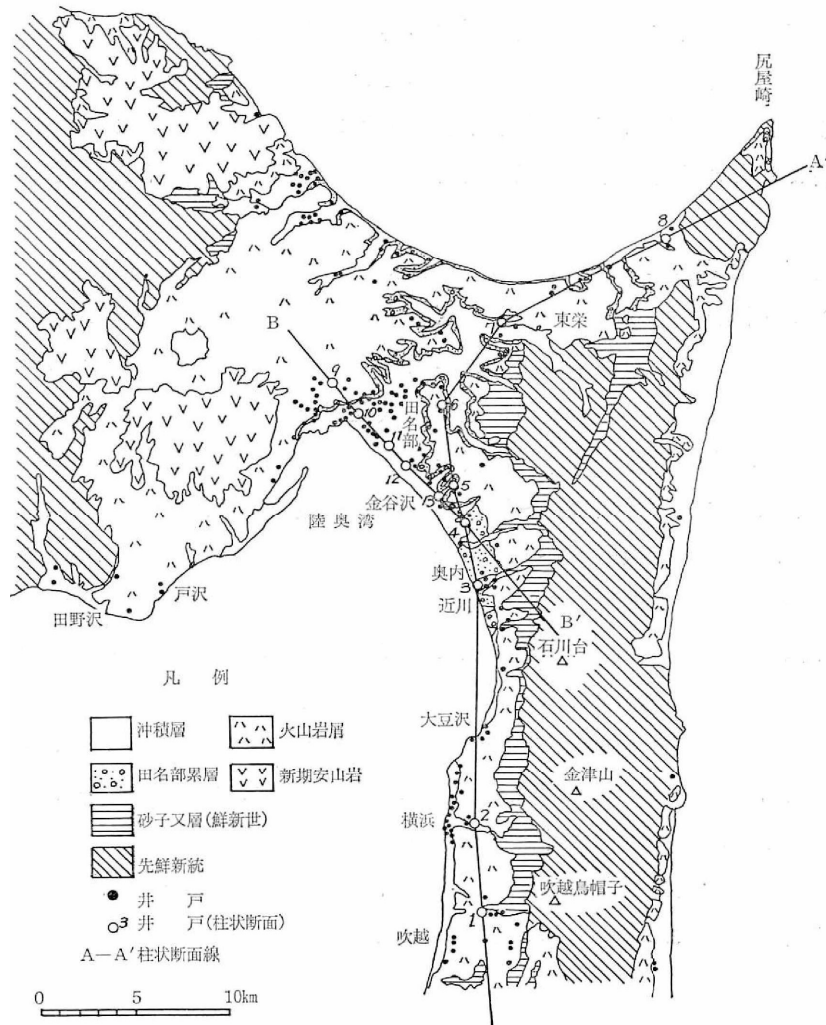
本州最北端に位置する下北半島の中央部には、田名部を中心とする低地帯、西部に東北地方の脊梁山脈から続く隆起帯や恐山火山などの山地、東部の半島の頸頭には比較的なだらかな丘陵地が広がります。

下北半島の地層層序表

時代	時 階	下北北東部 半沢正四郎	下北蒲野沢 桑野幸夫1958 青木・桑野1959	下北北東部 北村・藤井1962	近川 函 幅 今井 功1959	下北南部 柴崎 青木 他 1958	下北南部 種部 豊1963
鮮新世	VII	浜田層					
	VI	砂子又層	砂子又層	砂子又層	砂子又層	甲地層	砂子又層
中新世	V	猿ヶ森層	猿ヶ森層	猿ヶ森層	泊累層	上部鷹架層	泊安山岩質集塊岩 猿ヶ森層
	IV	泊層	泊層	泊安山岩質集塊岩	蒲野沢累層	下部鷹架層	内沼層 鷹架層
新世	III	蒲野沢層	蒲野沢層	蒲野沢層	蒲野沢累層	?	?
	II	薬研層					棚沢層
	I						
				中生層?			

地下水

主な帯水層は砂子又層、恐山火山噴出物および田名部層です。とくに砂子又層はきわめて良好な帯水層で、被圧地下水が得られます。深井戸の分布は田名部低地帯と下北東部の陸奥湾沿岸部に集中していて、砂子又層の分布域とよく一致します。主な帯水層のうち、砂子又層以外は一般に浅層の不圧地下水です。



下北半島の水文地質図

出典 日本の地下水（農業用地下水研究グループ,1986）（一部加筆）

「日本の地下水」では全国の地下水盆の概要が紹介されています。各地下水盆の概要を紹介している頁と関連する論文等を、下記の Web ページで閲覧できます。

<http://www.jagh.jp/jp/g/activities/committee/research/gwdb.html>（日本地下水学会）